



Rebroでの基本作図テクニック

断面図の表現方法

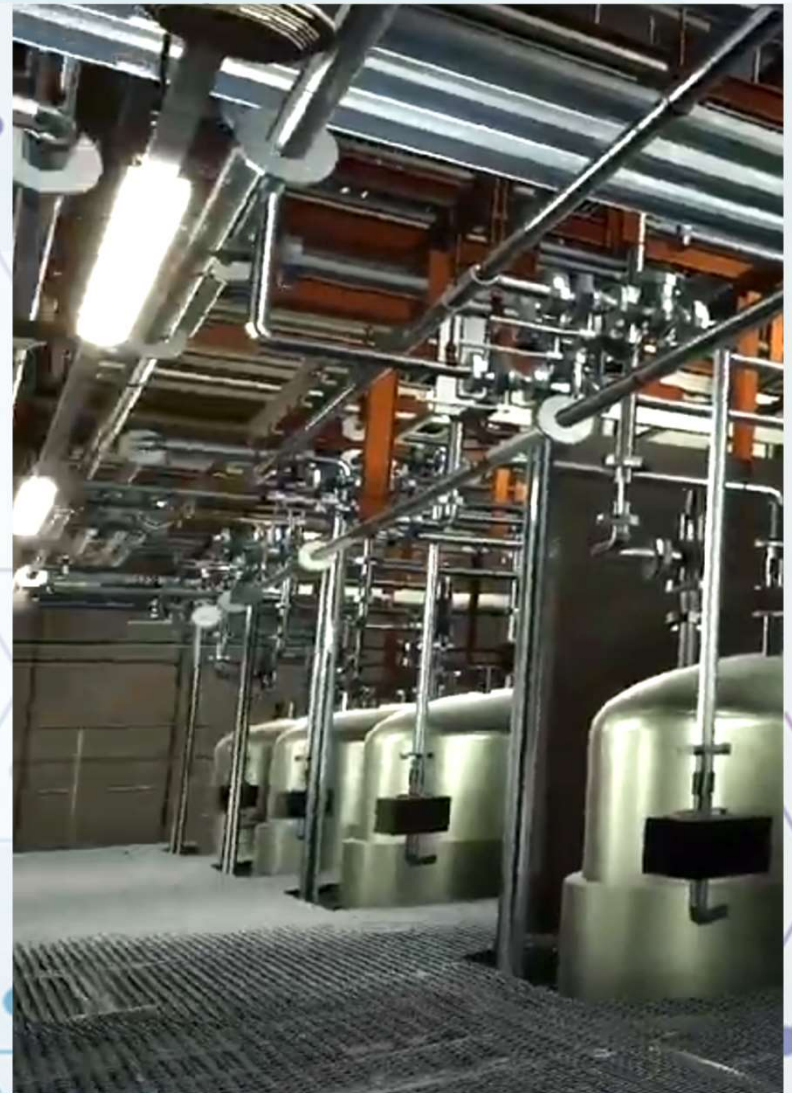
2021.03.17

株式会社サンセツビ空間計画
木島 幹生

Table of contents

目次

- 断面図の表現方法
- ビュークリップ機能について



※2D立面図をビュー化する

Rebroで作図した3D設備モデルに3Dビュー化した2D立面図を東西南北に配置することで立面図や断面図を表現できます。

2Dの立面図に3D設備の断面を貼り付ける



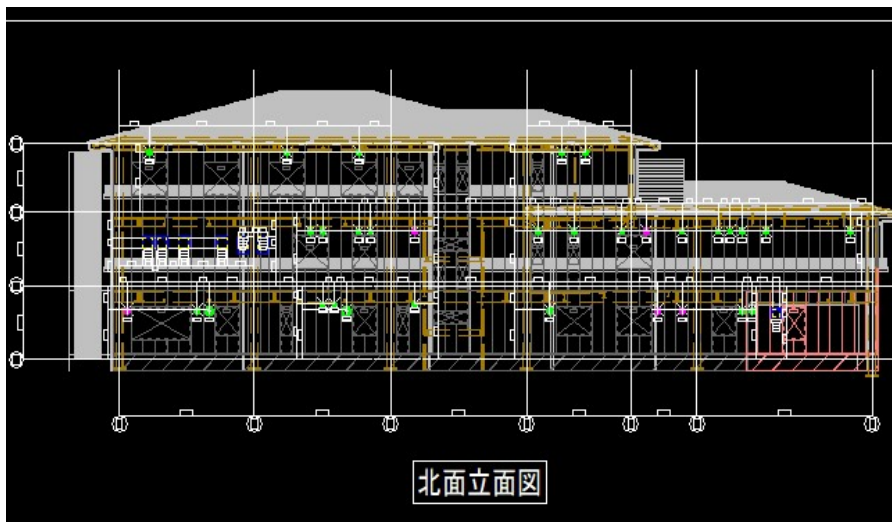
出来上がった図面は2D図面

3D設備モデルに3Dビュー化した立面図を配置する

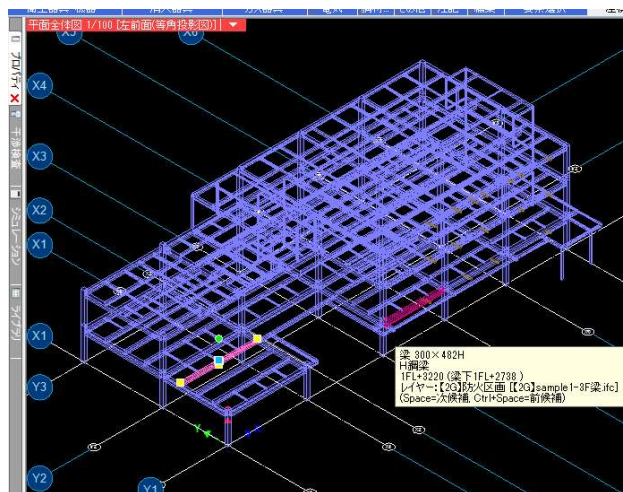


出来上がった図面は3D図面

※従来の一般的な立面図の表現方法



3D設備モデルを変更したときは立面図に設備の断面を貼り直す必要がありました。。。



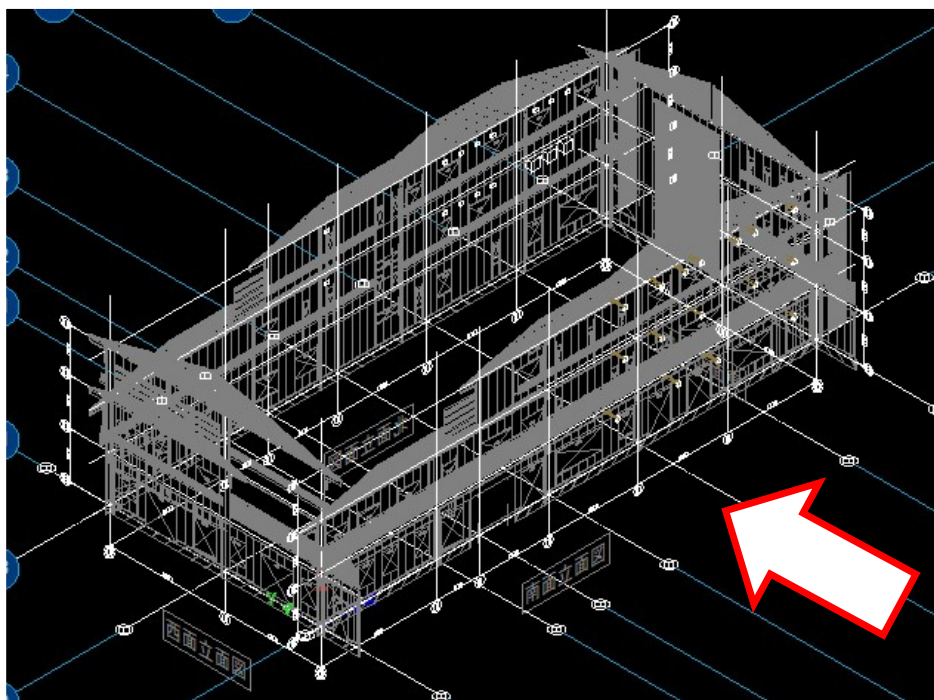
立面図と設備モデルが連動している。



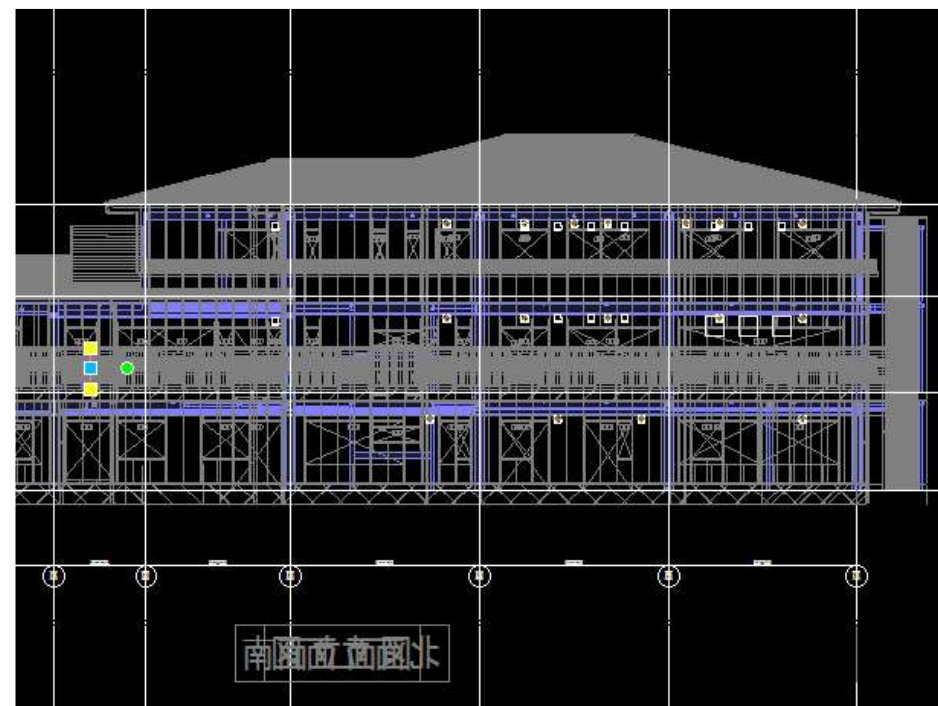
立面図.DWGなどの2Dファイルをビュー共通で3D立面図化し、自分が作図している3D設備モデルに外部参照させて表現します。

※2D立面図をビュー化する

ビュー共通でRebro化した立面の平図面を90°回転させて、起点を基準に東西南北に配置する



※上図はわかりやすいように
左前等角投影したもの



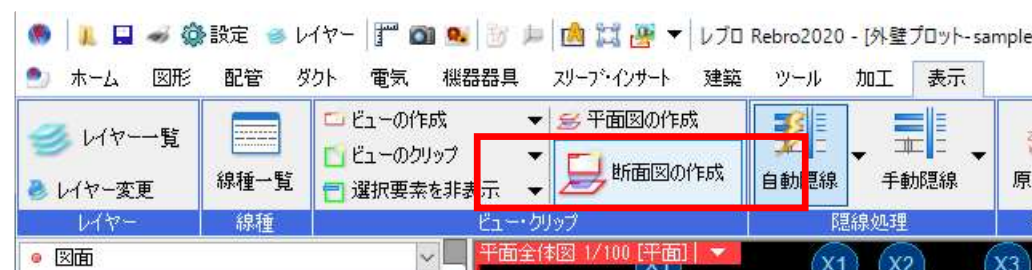
※赤矢じるし側から梁を表示させた図

①断面図の作成コマンド で表現

ビュー共通でRebro化した2D図面を90°回転させて、起点を基準にして東西南北に配置する

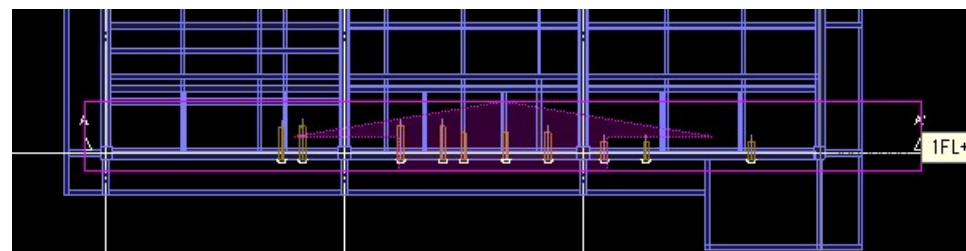
※ ↓ 平面で見えています

①表示タブから断面の作成を選択



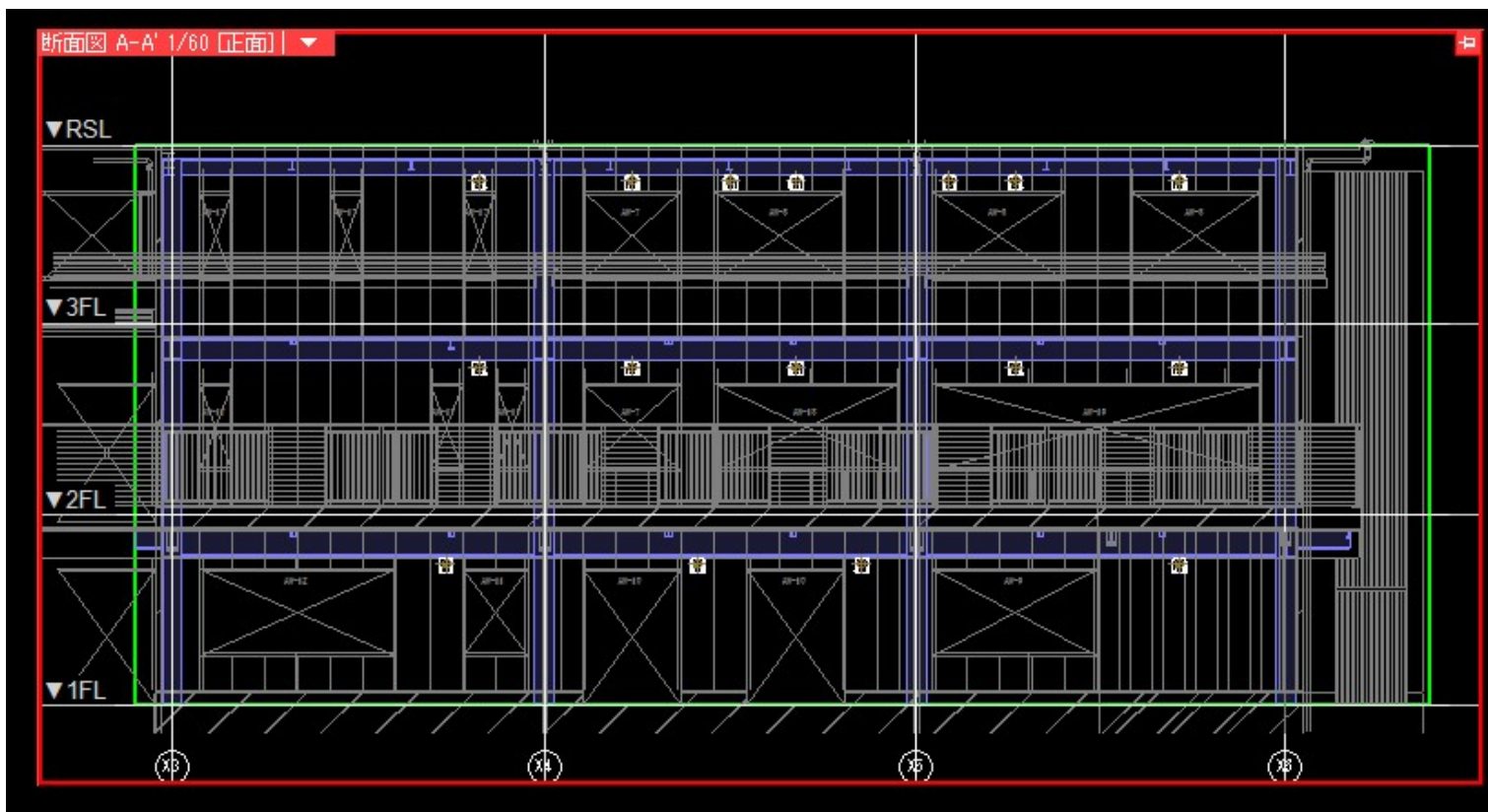
表示範囲の高さを入力

②マウสดラックで表示対象範囲を選択



①断面図の作成コマンド で表現

【断面図A-A'】の新規のビューとなります。（緑色に見えるのはビュークリップの機能です。）



※今回は表示高さをFL1～RSLにしたので全フロア表示されていますが、高さを2Fだけ、3Fだけにして表示することも可。作成後の変更も可能です。



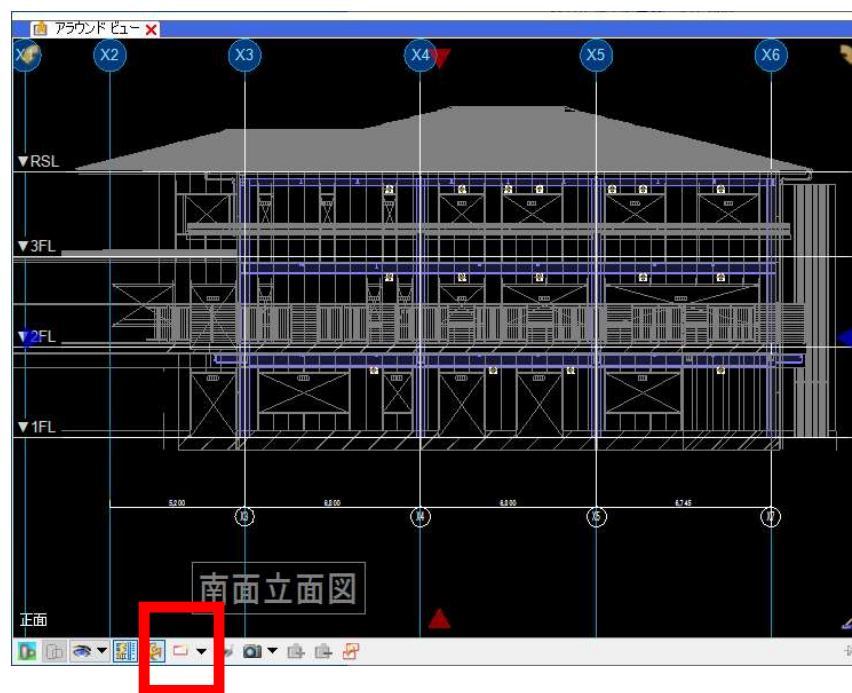
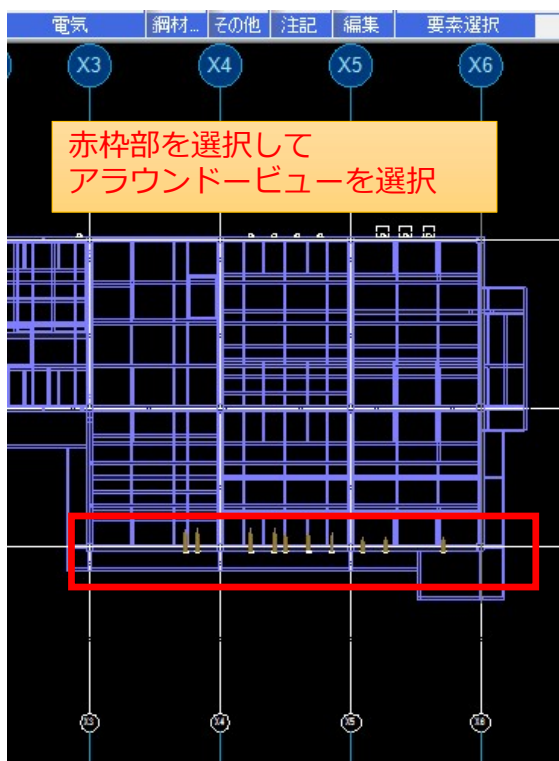
A-A'断面は3D図面なのでVCの位置や高さを変更すれば作図しているレイアウトと連動します。

②ア라운드ビュー で表現 (3D)



株式会社サンセリビ空間計画

アラウンドビューを**3D**としてビュー化する



このアイコンを選択すると↑のアラウンドビューがそのままビュー化されて(立面図として)保存&貼り付け可能です。

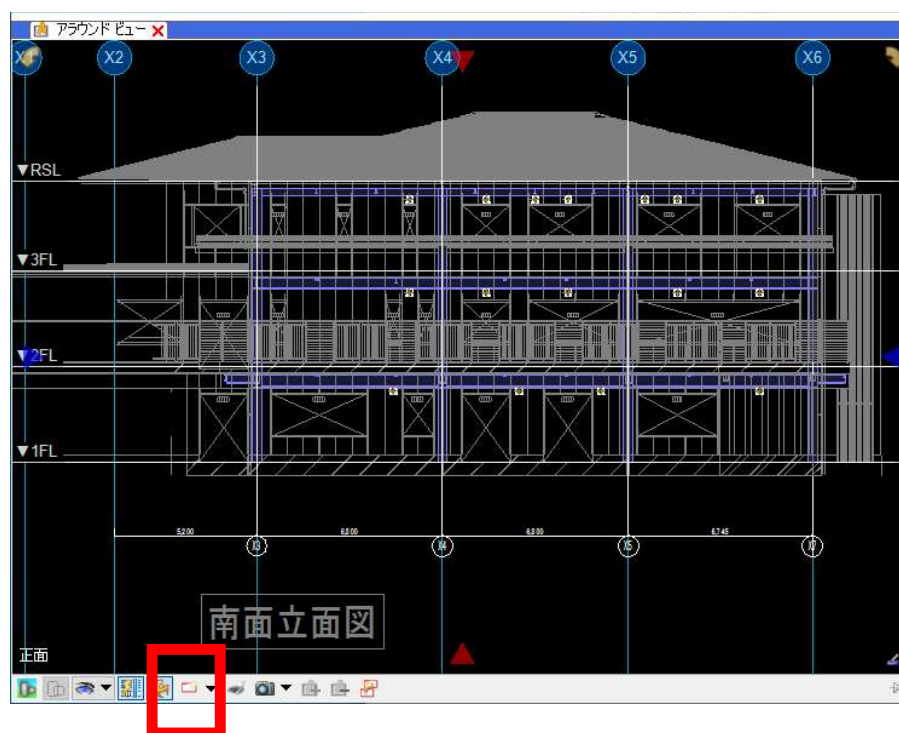
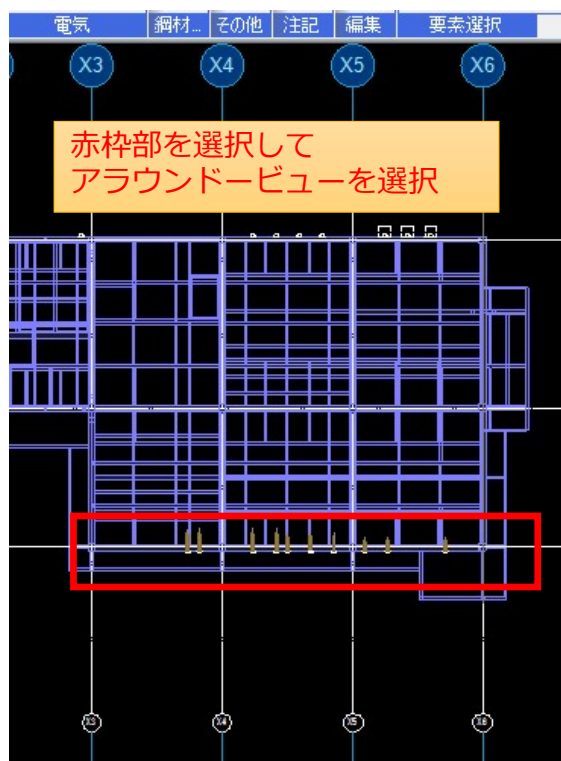
※緑色に見えるのはビュークリップ



3D図面なのでVCの位置や高さを変更すれば作図しているレイアウトと連動します。

②ア라운드ビュー で表現 (2D)

アラウンドビューを**2D**としてビュー化する



2D図面(線で表現されてる)
VCや梁はただのオブジェクト
の集合体です。作図している
レイアウトとは連動しません。

右▼から【ビューの作成(汎用図形に変換)】を選択すると、
線・点の集合体からなる2D図形として変換できます。

②ア라운드ビュー で表現 (2D)

アラウンドビューを汎用図形の**2Dとして変換**

右▼から【ビューの作成(汎用図形に変換)】を選択すると、
線・点の集合体からなる2D図形として変換できます

梁を選択すると・・・

VCを選択すると・・・

塗り領域 (137751)
Z=2.979
レイヤー:図形
(Space=次候補, Ctrl+Space=前候補)

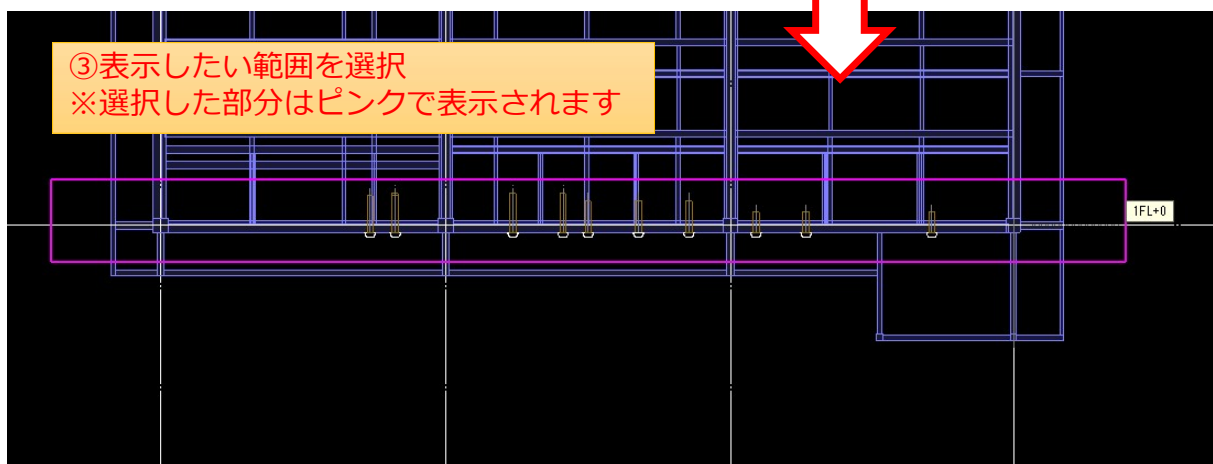
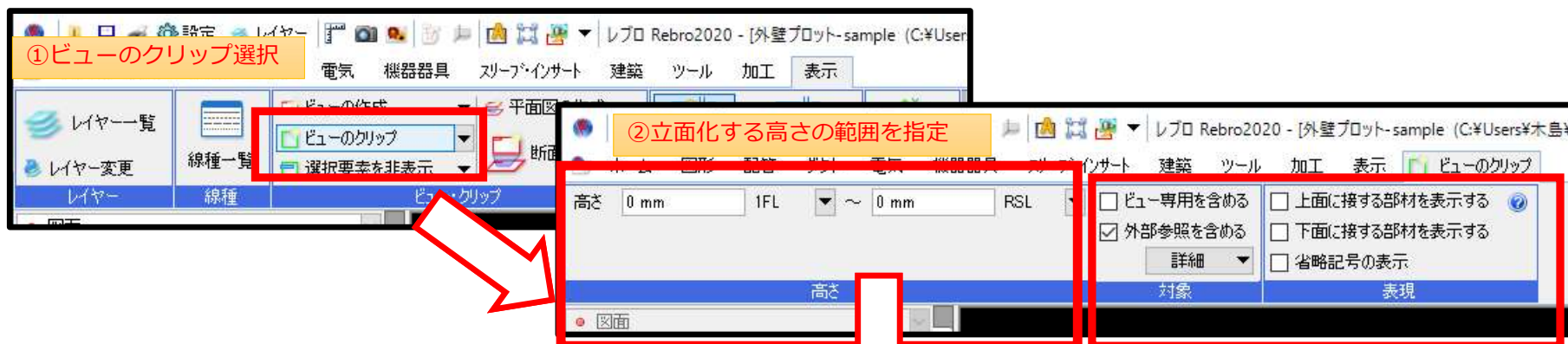
複合線 (144888)
Z=2.473.36
レイヤー:図形
(Space=次候補, Ctrl+Space=前候補)



3D連動の必要性が低い部分図や部材の断面
詳細などを図形として変換し、2D図面に
貼り付けることで作業を簡素化できます。

③ビュークリップコマンド で表現

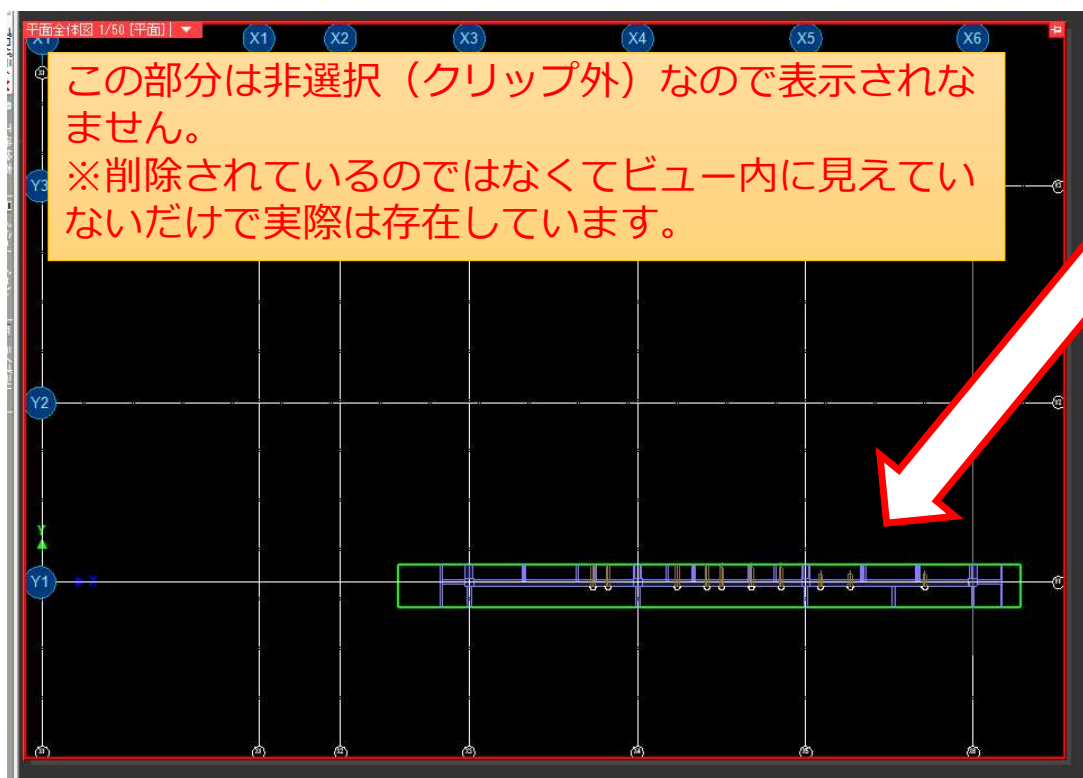
ビュークリップ機能を使って平面レイアウトから立面を表現する



『対象』『表現』
細かい設定ができます。

③ビュークリップコマンド で表現

ビュークリップ機能を使って平面レイアウトから立面を表現する



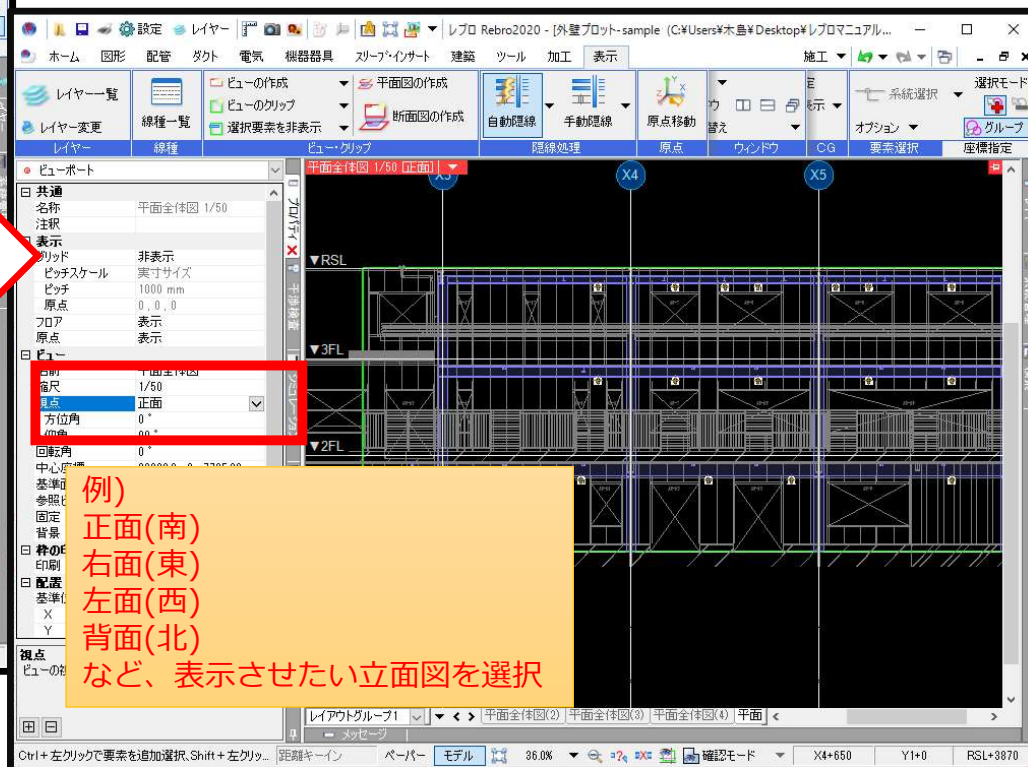
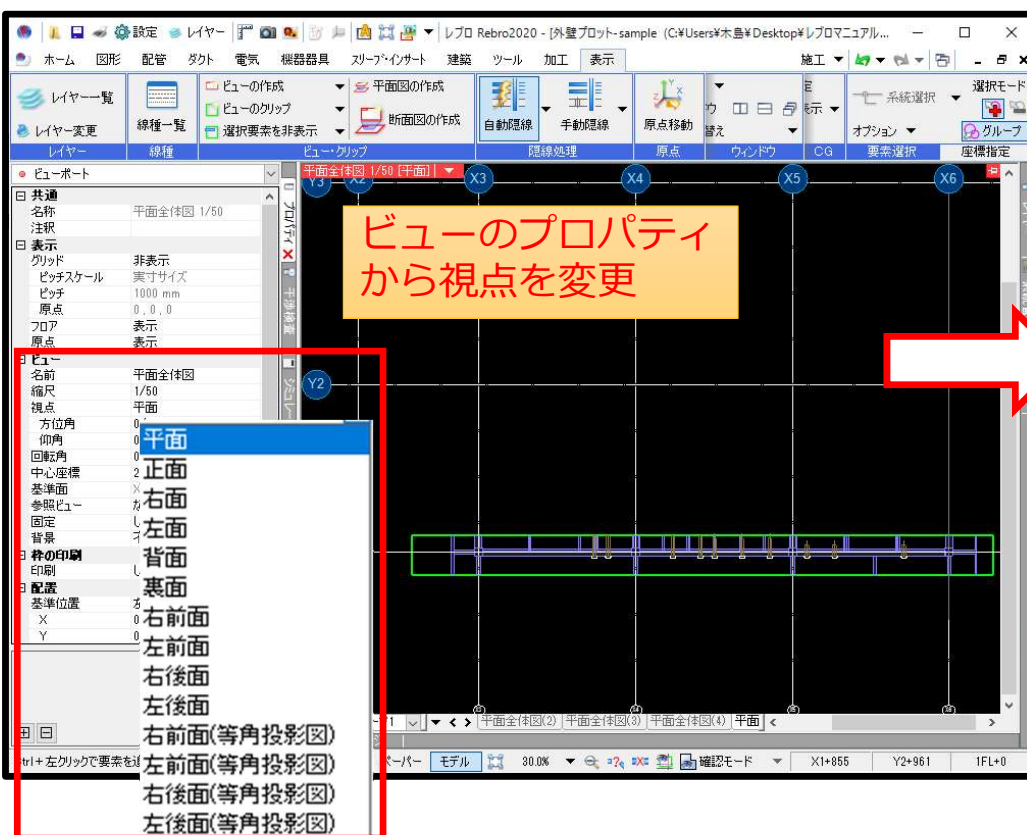
この部位を立面化します。



ビュークリップはビュー内を範囲選択した箇所だけを表示させる機能なので選択しなかった部分は表示されません。

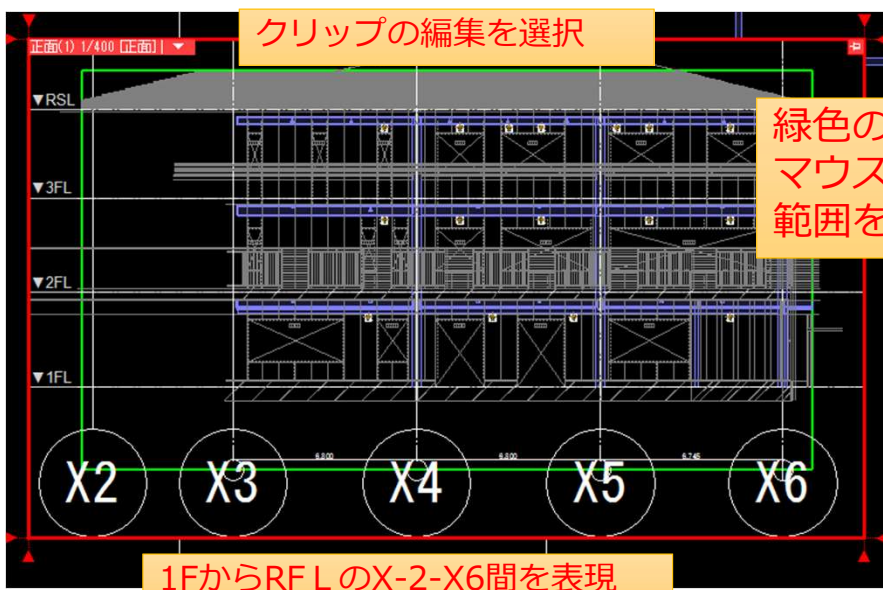
③ビュークリップコマンド で表現

プロパティからビューの視点を変更して平面図→立面図にする

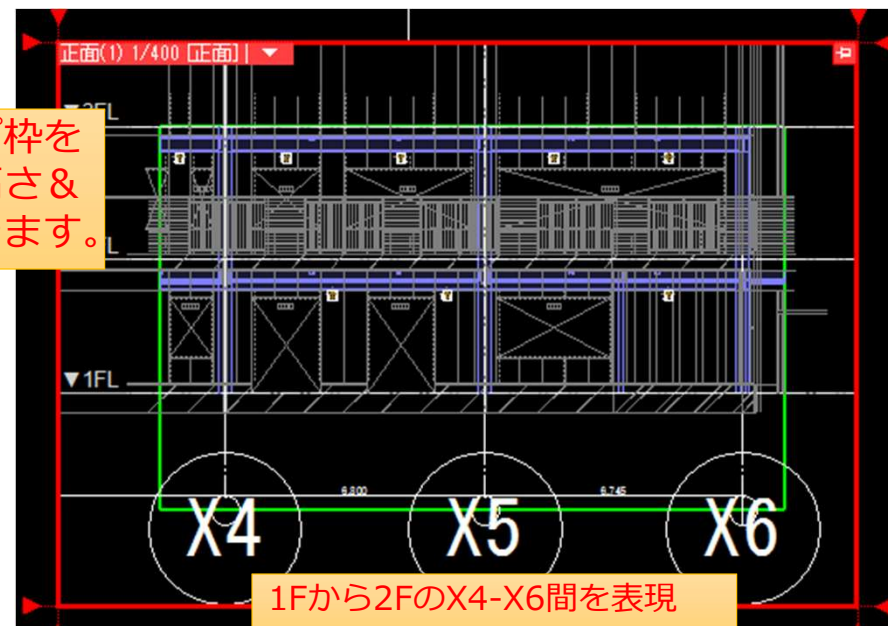


断面図の編集

断面図作成後にビュークリップを編集することができます。



緑色のクリップ枠を
マウス操作で高さ&
範囲を変更できます。



断面図の編集

断面図作成後にビュークリップを編集することができます。



※選択要素を非表示（追加表示）でダクト選択

選択要素の非表示（追加表示）

ダクト（オレンジ）の部分
を非表示にする

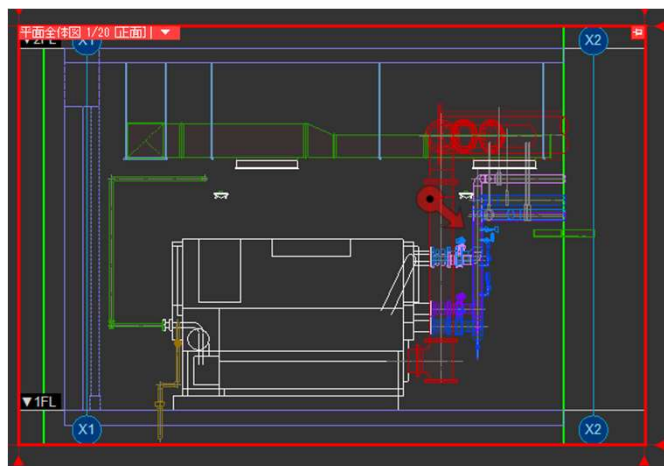
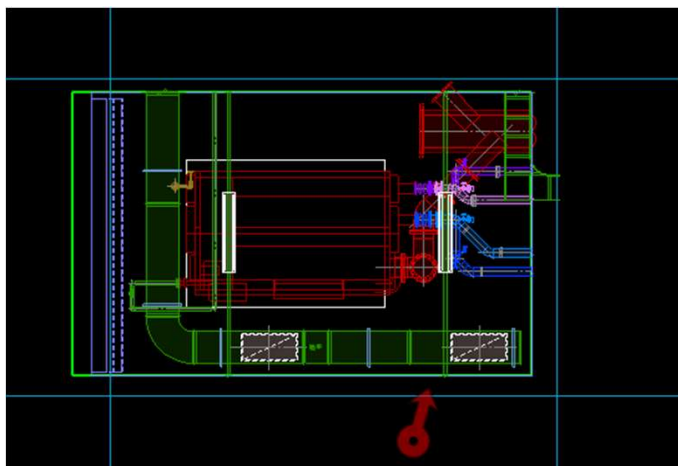
重なった部分を非表示にしたい時や、
範囲外のものを表示させたいとき
場合に使います。

断面の表現 まとめ

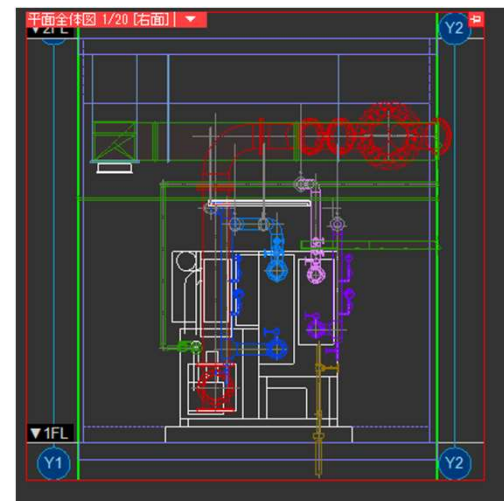
- 1.断面図の作成コマンド
- 2.アラウンドビューから立面ビューを作成
- 3.ビュークリップから視点を変更して断面を表現

これらは3つの方法のプロセスは違いますが、3D空間の中で図面化したい部分の高さと範囲を選択し、視点を決定して表現するということは共通しています。

視点（正面）



視点（右面）

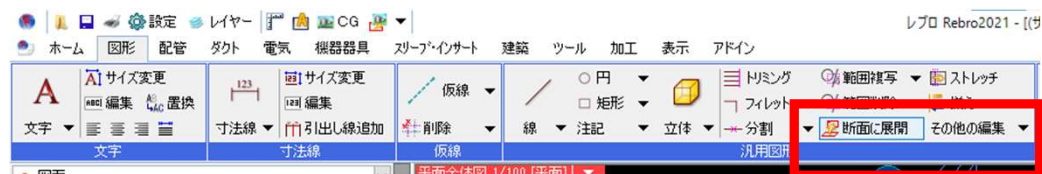
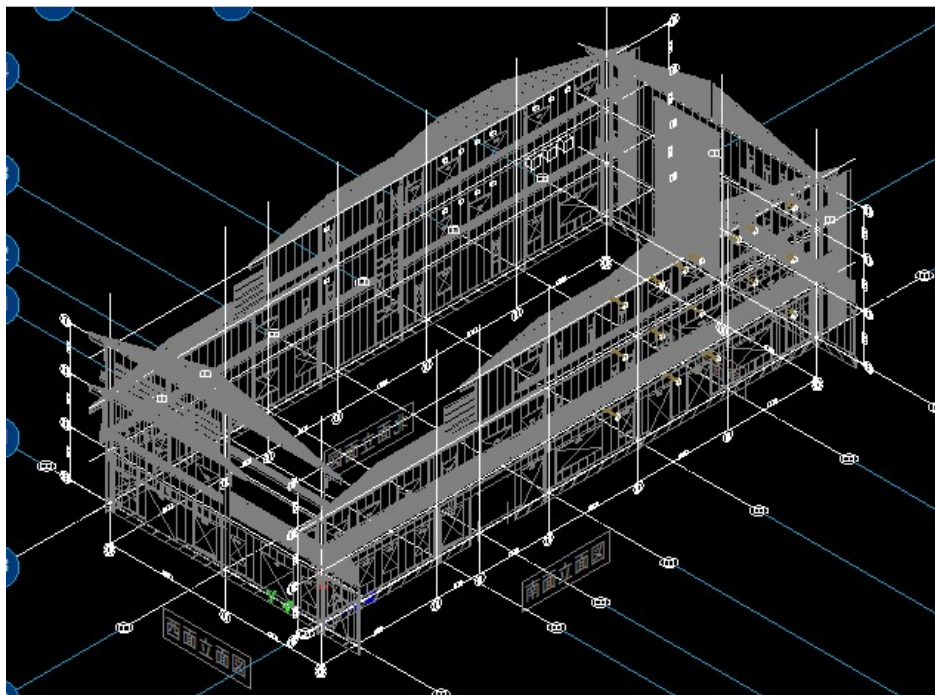


補足

※2D立面図をビュー化する



立面図をビュー化するには
【断面に展開】コマンドが便利です。



● ご清聴ありがとうございました ●